

人材発見～交流～育成 伴走を奏でる

平成28年4月の熊本地震から7年の月日が流れました。その間、国・県・各種関係団体の連携とご尽力により、被災したJR豊肥本線、国道57号、北側復旧の二重峠トンネル、新阿蘇大橋などのインフラが創造的復興し、今年の7月には南阿蘇鉄道の全線開通が予定され、今後の地域振興や観光の活性化へ向けて、新たな一步が始まります。

この数年は、新型コロナウイルス感染症への対応が生活の中心となり、感染拡大を防ぐため、人の流れが制限され、宿泊業など観光関連や飲食業は大きな影響を受け続けましたが、インバウンドを含め、阿蘇地域に人の流れも戻り始めています。

当財団の公益事業の一つである、地域力向上を目指す「阿蘇地域元気再生支援事業」においては、昨年度、地域を活性化するイベントなど12件の取り組みが行われました。

また公益事業の一つ、人材育成事業は、何かを始めるきっかけ作りが目的です。2期目の「あそ未来創造塾」は、人材の発見と育成を目的に地域資源や人材を活用しながら、阿蘇地域で志を持つ人の夢の実現を伴走し、サポートするものです。1期目では、自身で栽培したお米を使用した甘酒「うぶあま」の商品化、小国町の地域資源である「地熱」を活用し焙煎したコーヒーの店は話題を集め、どちらも販売は順調です。

「阿蘇地域観光リーダー育成講座」は、魅力ある観光地づくりをリードする観光人材を育成し、地域全体のレベルアップを目指す講座で、阿蘇地域から12名が参加、「ガチャガチャ」の中からランダムで体验コンテンツを紹介し、それに関連したクーポンが当たるなど「遊び心」のある提案などがありました。

これから5年間(R5～R9)の「阿蘇くじゅう観光圈整備計画」の策定を行い、他地域との交流をはかり、それぞれが学び合うことを支援し、雄大な阿蘇くじゅう地域の自然を活かし調和した未来志向型の広域での公益事業に取り組んでいきます。



(公財)阿蘇地域振興
デザインセンター
理事長 高橋 周二



田邊 龍史
(小国町)

異動挨拶

1年間大変お世話になりました。私が担当した地域観光リーダー育成講座では自らも受講し、現状と課題を分析し地域活性化に繋がる大きなヒントを得た事はとても大きかったと思います。また、阿蘇管内の市町村で観光に携わる行政職員をはじめ、地域おこし協力隊の方々との繋がりができたことも大きな成果だと思います。ありがとうございました。



吉岡 晃宏
(小国町)

この度、小国町から出向して参りました吉岡晃宏と申します。観光、地域振興という初めての分野で業務をさせてもらうことに緊張や不安もありますが、地域の魅力向上、持続可能な観光地域づくりなどに少しでも早く貢献できるように、また楽しむ気持ちも忘れずに精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



白石 孝二
(高森町)

新任挨拶

この度、高森町から派遣されました白石孝二と申します。現在、コロナ禍も収束を迎えることのある状況で、今後さらに人々の活発な交流が予測されますが、他地域に、阿蘇の魅力をさらに伝えるため、活発な情報発信に努めていきたいと考えております。これまでより、さらに広域的な観点から職務に従事したいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

【阿蘇デザインセンターが目指すもの・基本方針】

『阿蘇リレーション～つながる阿蘇～』

阿蘇DCでは、各地域それぞれの良さや地域を支える人材などが地域に根差し、大きく成長していくよう、『阿蘇の「根っこ」を育て「芽生え」を促す』ことを意識しながら、総合的かつ長期的視点をもって、阿蘇づくりを推進します。

新たなコンセプトとして『阿蘇リレーション～つながる阿蘇～』を掲げ、人や地域との関係づくりに重点を置き、「人や地域がつながり、世界とつながり、次世代へとつながる阿蘇」を目指し様々なつながりによって、地域住民と阿蘇地域を訪れる人々の双方にとって魅力あふれる持続可能な阿蘇づくりを推進します。

また、『人材育成』『関係人口』『伴走支援』を柱として、リカレント教育や中高生のキャリア教育などを通じて地域づくりの担い手を育てるとともに、移住定住対策だけではなく関係人口拡大に向けた取組みを重点的に進めるとともに、起業支援、人的ネットワークの拡大に取り組み、地域に還元していきます。さらに、地域づくりのサポートを行う際には、積極的に地域に出向き、ともに動くことにより、「頼れるDC」となるように努めます。



公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター

〒869-2612
熊本県阿蘇市一の宮町宮地4607番地1
TEL 0967-22-4801 FAX 0967-22-4802

阿蘇デザインセンター 検索
<http://www.asodc.or.jp>



lulu(ルル)=素晴らしい魅力という意味。

since 2012



vol. 23
2023
FREE

人や地域がつながり、世界とつながり、次世代へとつながる阿蘇



南阿蘇鉄道 全線運行再開
令和5年7月15日(土)



あそ未来創造塾



あそ未来創造塾は、地域活性化人材の発見と育成を目的に、特色ある阿蘇の地域資源や人材を活用しながら、新しいビジネスプランの構築と実践の両立を目指すカリキュラムです。様々なカリキュラムを通じて熊本大学や専門家、金融機関、阿蘇DCが阿蘇地域で志を持つ人々の夢の実現をサポートします。昨年度、第1期生が修了し、受講した1期生が各地域で活躍する姿を目にします。あそ未来創造塾での経験や探求が、地域で輝き始めています。

1期生のその後

「地方創生×そようよさうよ」

有限会社工藤石油
専務取締役
工藤 知保さん

地方創生の活動を数多く見てまわり色々な主催者とも話したが、心に残る事はほんの一部でした。その一部以外の団体や活動は、目的が自分達の利益のみになっているように感じていました。活動内容のほとんどが金太郎飴みたくどこを切っても同じようなイベント、さらには一過性で終息していく。「ほんとに熟考した先のイベントなのか…? まちづくりとは…。」

そこで我々は何度も会議とテストを重ね先ずは小さくターゲットを地元にしぶり「一般社団法人そようよさうよ」を結成。継続可能で苦にならず少人数でできる活動を続けることにしました。それで生まれたのが「まみはらピアノ」と「まみはらゲーム」。主催者側のエゴができる限り捨て、ミニマル化、そして理念の共有。マネタイズを急がず、地元の方の衝動を駆り立てることを目的として活動しています。あそ未来創造塾での学びでもともと考えていた事を更に小さく、より本質的な行動が可能になったのではと感じています。

そして我々の可能な範囲以外のところは、関わらないようにしている。風呂敷を広げすぎないよう心がけています。

今後は、マネタイズ化と雇用、地元の若者への教育(あまり固いものではない)に力を注ぎ、そこから生まれるであろう自発性を育てたいと考えています。

「一般社団法人そようよさうよ」
WEB: soyou-yosasouyo.com
インスタ: [soyou_yosasouyo](https://www.instagram.com/soyou_yosasouyo/)
Facebook: 一般社団法人そようよさうよ
毎月1回 馬見原商店街 馬見原交流広場にてまみはらピアノ開催中(不定期)



1期生のその後

「コンテナハウスを活用した 南阿蘇の小さな観光拠点を目指して」

株式会社阿蘇アースライブラリー
長野 梢人さん

熊本地震後、ボランティア団体として活動していた時にコミュニティスペースとして韓国の団体より寄贈されたコンテナハウスを活用させて頂き、現在、小さな観光拠点の整備を進めています。南阿蘇に訪れる観光客に向けて、大きな道の駅では紹介できないような観光スポットなどを、会社の財産である「写真家長野良市」が撮影した、様々な写真をメインに発信できるような魅力ある場所にしたいと思っています。あそ未来創造塾に参加したこと、聴けながら考えていた構想を、大学の講師や現在阿蘇で活動している経営者、他地域の塾生の得難い体験談や学術的な考え方などを耳聴させて頂き、人口減少に伴う様々な南阿蘇地域の課題を意識し、私が考える事業にアウトプットすることで、形にすることができました。現在、内装などの整備をしており、小規模なマルシェなどのイベントスペースをはじめとして近くプレオープンを予定しています。



コンテナハウスを活用した南阿蘇の小さな観光拠点、小さな道の駅「Minami-aso Base KAGUYA in Bamboo forest」
株式会社阿蘇アースライブラリー／熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽1475-1

1期生のその後

「人と人との繋がりの大切さ。」

児玉 真美さん

昨年のあそ未来塾修了後、ホッと一息する間もなくすぐに、マルシェを開催しました。年二回、春と秋に行っている「おぐにマルシェ」です。お店のある通り「宮原一番街」の町並み保存を目的に、建造物や町の歴史についてなど、地域の方や、県外の方達へも知ってもらえたたらという思いで行っています。秋のマルシェ開催の時には、阿蘇地域振興デザインセンター主催のロゲイニングイベントと同時開催で行いました。沢山の方が通りを一斉に駆け抜けていく様は圧巻でした。生憎のお天気でしたが、沢山の方が笑顔で参加されていて、マルシェの方もいろんな方々に遊びに来ていただけてとても楽しいイベントとなりました。

一緒に学んだ1期生の方々とも一緒に、マルシェを開催することが出来ました。参加してもらったり、誘って頂いたりと、それぞれの繋がりの輪が広がっていって、とても楽しい一年間になりました。これからもどんどん、楽しい輪を広げて行けたらと思っています。あそ未来創造塾では、「地方創生とは」を学ぶ中で自分自身の課題や、お店の事だけではなく、地域全体の事を考える大切さを学ばせて頂きました。これからどうするべきか、考えることややることは山ほどありますが、学んだことを無駄にしないように、これから活動に役立たせたいと思います。今後も、持続可能な事業+観光をテーマに色々と考えて活動していきたいと思います。

③児玉酒店

WEBサイト <https://www.marusan.org/>
Instagram <https://www.instagram.com/kodamasaketen.marusan/>



阿蘇地域観光リーダー育成講座プロジェクト

阿蘇DCでは魅力ある観光地づくりをリードする「観光人材」を育成し、地域全体のレベルアップを目的とした「阿蘇地域観光リーダー育成講座」の第2期目を実施しました。本年度は阿蘇地域の市町村から12名が参加し、講師の指導の下、各地域の現状や課題分析を行い、その課題解決に向けたプロジェクトを作り上げていきました。本講座最後にはプロジェクト発表会を開催、参加者からは身近な事柄や地域の課題をテーマに実現の可能性が高い企画が発表されました。今後の、受講生の活躍と地元の観光活性化に期待します。



最優秀賞

「ガチャガチャ」で行先や体験アクティビティ、日帰り温泉などを選ぶマッチングシステム『回して、周る、みなみあそ』(大内佑介さん／南阿蘇村)

優秀賞

地域外の人が想像する阿蘇に一番近い、繋がるイベント『阿蘇らしい「阿蘇」産山ご縁旅』(家入夏来さん／産山村)

あそ未来創造塾2022【第2期】

昨年から始めた「あそ未来創造塾」も第2期が令和4年7月からスタートし、阿蘇地域の各市町村から志を抱いた11名の若者が受講しました。

「あそ未来創造塾」では、地域企業、金融機関、阿蘇DC、熊本大学熊本創生推進機構(産学金官)が早い段階から地域課題を共有し、知恵を出し合い、協力体制を構築することで人材育成機能と地域課題解決の実践機能を持ち合わせたプラットフォームの構築を目指しています。第2期も、熱い思いを持った若者たちが、専門家の講義やディスカッションを重ね、それぞれの夢の実現に向けたビジネスプランを組み立て、発表しました。



2期生の感想

カフェ 璞庵
島川 愛さん



熊本地震や火山噴火で観光客が激減、更にはコロナ流行で正直もう飲食店は無理なのではと思ってました。そんな時、友人から紹介され、何か変わるかもしれないと思つて受講を決意。講義を受けていく中で自分のモチベーションが上がり、さらに阿蘇の素晴らしさにも改めて触れました。この塾のテーマである「かっこいい大人」を見せる」という言葉にハッとした。現在、息子が家業である養豚を継ぎたいと宮城県に就職し頑張つていて、自分も息子にかっこいい大人の背中を見せなければと思いました。また、今まで当たり前に食べてきたものが実は素晴らしい貴重な事だと気づき、自分が農業を継承し、たくさんの方にお届けしなければとビジネスプランを作成しました。3分で思いを伝えるのはとても難しかったですが最終日には自分史上最高のプレゼンが出来たと思っています。今後もこの塾で出会った仲間と繋がっていきたいです。サポートしてくれた友人をはじめデザインセンターの方々には心から感謝しています。

2期生の感想

美活ライフサロン
コアチューニングトレーナー/
着物上級講師
井上 彰子さん



あそ未来創造塾を受講し、先生方の講義やアドバイスのお陰で、大きな目標を現実化するために、たくさんあるやるべきことの優先順位や方法、ビジネスプランとして言語化、文章化ができるようになったことが、とても大きな成長でした。また、社会の課題、地域の課題に気づく視点ができ、それをどうやったら解決できるのかという視座を高めることができる有料級の有意義な塾でした。これから地元南小国町で、観光×食×農体験×ウェルネスを五感で体感できる長期滞在型民泊を目指し、田舎と都会を繋ぎ、心も身体も癒される眞の健幸に導き、小国郷への移住定住に繋がるビジネスモデルを開拓していきます。



阿蘇ユネスコ世界ジオパーク

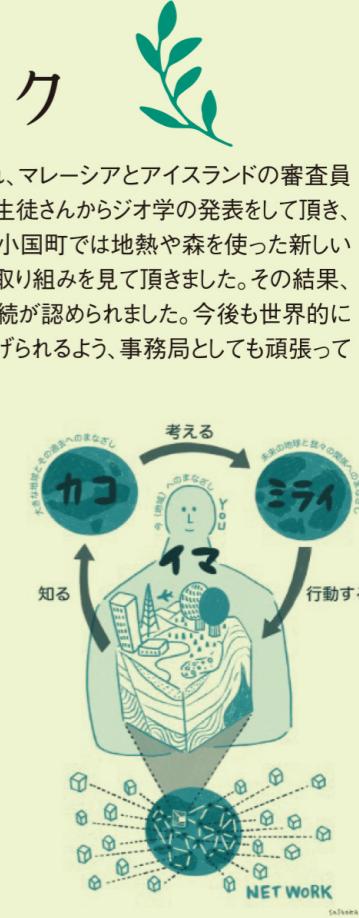
2022年10月、国連教育科学文化機関(ユネスコ)による4年に1度の再審査が行われ、マレーシアとアイスランドの審査員2名が阿蘇を巡りました。西原村や南阿蘇村では災害と向き合う姿、高森町では高森高校の生徒さんからジオ学の発表をして頂き、阿蘇市では火山防災や教育、南小国町や産山村では昔と変わらず区役を続けている姿、小国町では地熱や森を使った新しい可能性を模索する姿、山都町では、蘇陽峡を盛り上げようとする熱意など、各地での現状や取り組みを見て頂きました。その結果、阿蘇の生活は土地=ジオと密接に関っていると高評価をいただき、2023年から4年間の継続が認められました。今後も世界的にその価値を広げる事が求められていくこととなります。地域のみなさまの活動をより世界と繋げられるよう、事務局としても頑張っていきたいと思います。

(ジオパークは未来へのアクション)

私たちは未来のことを考える必要が出てきました。SDGsもそうですし、阿蘇では草原の減少もあります。農作物では、植えるタイミングも変わり、もしかしたら地球温暖化のせい?という人もいます。

未来のことを考えるには、タイムマシンがあれば便利ですが。私たちは、過去から未来を予測するしかありません。伝承や書物など人の痕跡=文化遺産に加え、二千年に一度という熊本地震のような大きなタイムスケールの痕跡=地質・地形の遺産(ジオヘリテイジ)などを駆使して、未来をみんなで考え、地域の宝を守り活用する活動、それがジオパークというユネスコのプログラムなのです。

同じ問題意識を持つ国々がグローバルなネットワークを構築し地域や地球の課題を解決しようとしています。その一員としてしっかり活動し、後世へ伝える成果を目指していきたいと思います。



(日本ジオパークネットワークHPより抜粋)

阿蘇DC地域づくりセミナー 萩ジオパークのつくり方

世界ジオパーク推進協議会事務局で、地質学専門の白井孝明氏(山口県萩市)を講師に迎え、特産品や名所を育む風土についてお話しいただきました。「萩」は2018年に世界ジオパークに認定。

白井氏は「萩焼の粘土は、1億年前の火山噴火でできた花こう岩が風化したもの」と話し、萩市周辺の砂浜や岩と火山の関連性について解説しました。また、持参した萩の特産品の夏ミカンについて、明治維新で職を失った武士により始まったと紹介、最後に「各地の文化や食の背景には大地の営みがある」と阿蘇ジオパークにエールを送りました。



令和4年度 阿蘇地域元気再生支援事業

1 阿蘇市

第一回 ASO古代の里ヤマメ釣り大会

事業実施主体／古代の里キャンプ村(手野きよら会)
後援 阿蘇市、手野名水会
実施場所／古代の里キャンプ村(阿蘇市一の宮町手野)
期日／令和4年6月5日



古代の里キャンプ村で、「ヤマメ釣り大会」を12年ぶりに復活させ、集落の連携・活性化や地域の魅力を訴求しファンの獲得を目的に実施。また、豊かな自然への関心を高めもらうため地元の保育園児がヤマメの放流を体験。

水車改修事業

事業実施主体／手野名水会
実施場所／阿蘇市手野
期日／承認日～令和4年12月25日



地区的魅力発信や手野の名水を守る活動を行っている手野名水会が、「名水の里手野」として地域を知らしめる施設にするため、数年前に水車を建設。これまで改修等を繰り返してきたが、水車自体が木製品であるため、腐食が激しくがたつき等もあったため、中心部を鉄骨等で補強を行った。

阿蘇山登山口休憩スポットづくり

事業実施主体／ASO登山口ツーリズム推進会
実施場所／阿蘇山登山口
期日／令和4年12月5日～令和5年2月27日



阿蘇山上登山口に観光者や登山者、サイクリング者の休憩スポットを整備。観光案内を兼ね備え、安全で楽しい阿蘇の旅に繋がればと期待。

3 小国町

ワーケーションスペース作成事業

事業実施主体／一般財団法人学びやの里
実施場所／木魂館2階フリースペース
期日／令和4年9月1日～10月31日



コロナ禍で個人やファミリー層での宿泊者が増え、ワーケーションの様な仕事をしながら余暇を楽しむニーズも徐々に増し、オンラインで会議や面談をするケースも多いことから、「ワーケーション」「オンライン会議」「コワーキング」等様々なニーズに対応できる施設づくりに活用。木魂館2階のフリースペースを改修。

6 西原村

NISHIHARA Autumn フェスティバル

事業実施主体／西原村商工会
青年部
実施場所／西原中学校
期日／令和4年11月19日



コロナ禍で村の夏祭りが中止。地域コミュニティと地域経済の活性化を目的に、感染対策を行い、例年実施してきた夏祭りイベントの内容に「プロジェクトマッピング&LEDバルーン」や「西原村産シルクスイートを使用したスイーツの人気投票」といった新たなコンテンツを加えて開催した。

八王社例大祭鬼神どんまいり

事業実施主体／宮山八王社例大祭まつり
実行委員会
実施場所／熊本県阿蘇郡西原村大字宮山437番地上
期日／令和4年11月23日



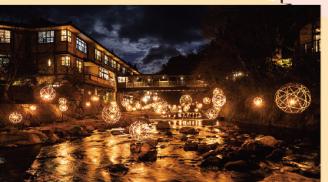
数百年も前より続く、伝統と郷土愛、地域交流を兼ねた地元の祭り、神楽の舞「鬼神どんまいり」が少子化もあって見学者も減少、ここ数年コロナ禍で縮小していたため感染症対策を行い、本来の規模の祭を実施。見物客に屋台などを無料で振る舞った。



2 南小国町

新たな湯あかりの創出と町全体への点灯拡大事業

事業実施主体／南小国町観光協会
実施場所／阿蘇郡南小国町一帯
期日／令和4年11月1日～令和5年2月10日



湯あかり11年目を迎え、10年の取り組みを基礎に新たな展開として実施。フォトコンテストに加えて、黒川以外の温泉地での点灯など、湯あかりを町全体に広げ、宿泊施設への提灯籠の飾り付けも行った。また、鏡と竹あかりを組み合わせた大きな万華鏡の設置など、これまでになかった飾り付けにも挑戦することができた。

4 産山村

池山水源 ライトアップ事業

事業実施主体／産山村観光協会
実施場所／池山水源
期日／令和4年7月23日～8月21日



産山村の観光スポット「池山水源」で、夜間のライトアップを実施し、減少した観光客の入込数の回復と、産山村内への宿泊客数の増加、周辺観光地からの誘客を図った。また、村外にも広く広報し、小国町の下城の大イチヨウ、南小国町の黒川温泉湯あかりなどと連携し、北阿蘇地域における夜間のコンテンツを充実させ、周遊を促す取り組みを行った。

第24回大草原のうさぎ追いinうぶやま

事業実施主体／産山村
実施場所／うぶやま牧場周辺の草原
期日／令和5年2月11日



コロナ禍により、2021年から開催できずにいた産山村の冬の風物詩「うさぎ追い」。里山の文化を後世に伝える貴重なイベントとして継続していくため3年ぶりの開催。また、野うさぎ会える体験を通して阿蘇の草原の素晴らしさをPRしていく。

7 山都町

そよ風パーク ブルーベリー館改修事業

事業実施主体／エネルギー・プロダクト株式会社
実施場所／そよ風パーク ブルーベリー館:物産館
期日／令和4年12月3日～令和5年3月11日



道の駅そよ風パーク施設内の最も古いブルーベリー館の改修計画の一環で、コロナ禍を踏まえてブルーベリー館内のトイレ等の衛生器具・施設整備と改修に伴う看板工事と記念イベントを実施。清潔感をアピールして、お客様への安心感の提供と新生そよ風パークのアピールに活用。



阿蘇DC2022年度版 発行物の紹介

阿蘇DCでは、観光周遊や情報発信のための様々なマップや冊子を毎年発行し、各種イベントや観光地などで配布しています。ぜひ手に取ってご覧ください。
※お問い合わせ:TEL.0967-22-4801(阿蘇DC)

阿蘇ハンバーグマップ

阿蘇地域のおすすめ「あか牛ハンバーグ」34品を掲載したボリューム満点の「阿蘇ハンバーグマップ」が完成。あか牛のポテンシャルを存分に味わえる多種多様な絶品ハンバーグの数々を紹介しています。



阿蘇DCフォトカレンダー「Aso water」

季節ごとに姿をかたちを変える、阿蘇の「水」がテーマのフォトカレンダーです。阿蘇DCのスタッフが撮影した美しい水の風景が一年中楽しめます。



その他の発行物

「阿蘇の食卓 - 阿蘇珈琲物語」「Aso movie(動画で楽しむ阿蘇の旅)」「阿蘇ウェルネスツーリズム～リラクゼーション」「阿蘇地域体験コンテンツ調査事業」

インスタグラム写真展

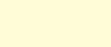
令和4年度も3回にわたってInstagramフォトコンテストを開催しました。毎回たくさんの応募をいただき、美しい風景や花々など阿蘇の季節を切り取った素敵な写真の数々が集まりました。今後も継続して様々なテーマで開催します。

あそ花旅2022春 Instagram

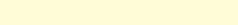


阿蘇市賞

南阿蘇村賞

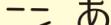


西原村賞

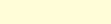


山都町賞

南小国町賞



西原村賞



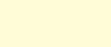
小国町賞

阿蘇夜のフォトコンテスト Instagram



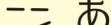
イルミネーション賞

星空賞



星空賞

夜景賞



夜景賞

あそ花旅2022秋 Instagram



阿蘇市賞

高森町賞



産山村賞

西原村賞



南阿蘇村賞

南小国町賞



山都町賞

小国町賞



西原村賞

小国町賞

